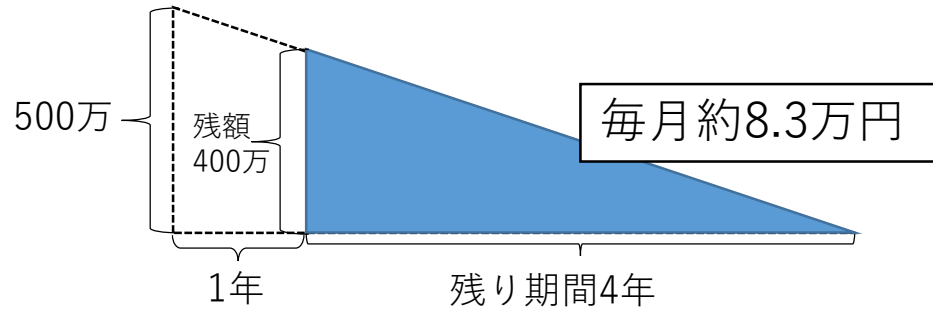


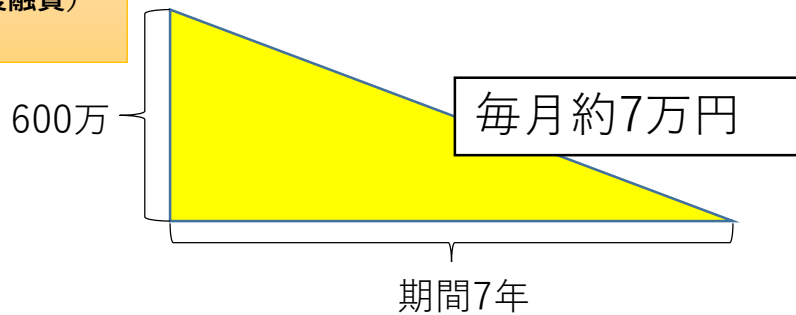
5 重複融資及び借換融資について

重複融資

融資①
400万円



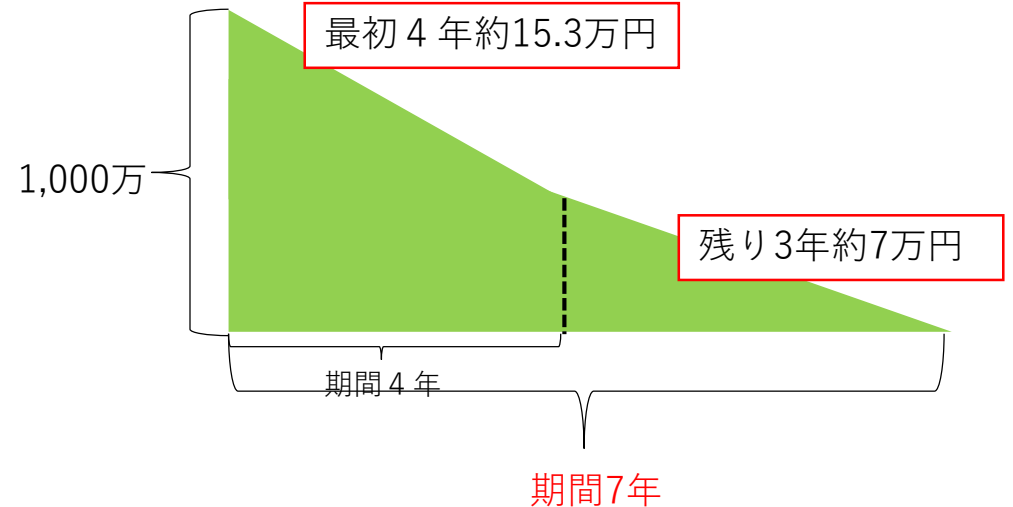
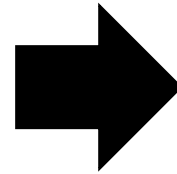
融資② (重複融資)
600万円



内容

・残債がある状態で、同じメニューの融資を追加で借りる。

例：返済途中の融資①がある状態で、融資②を借りる場合。
融資①（貸付金額：500万、経過期間：1年、残債：400万）

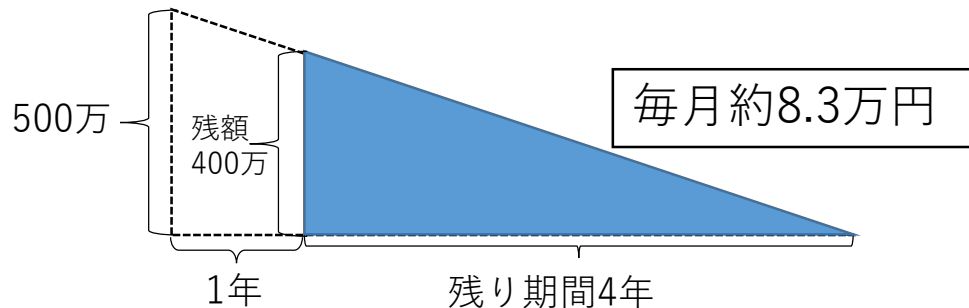


返済金額

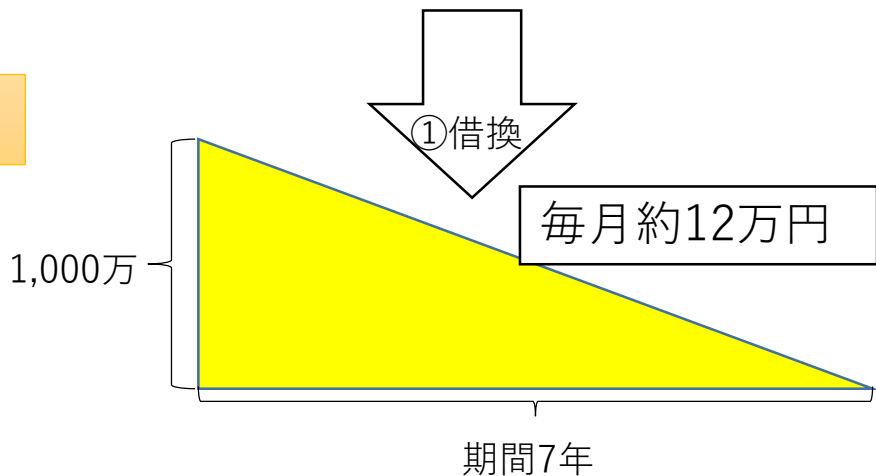
- ・【4年間】 毎月約15.3万円
- ・【5年～7年】 毎月約7万円

借換融資（繰上償還+真水分追加）【例：八王子市、多摩市、福生市】

融資①
残債400万円



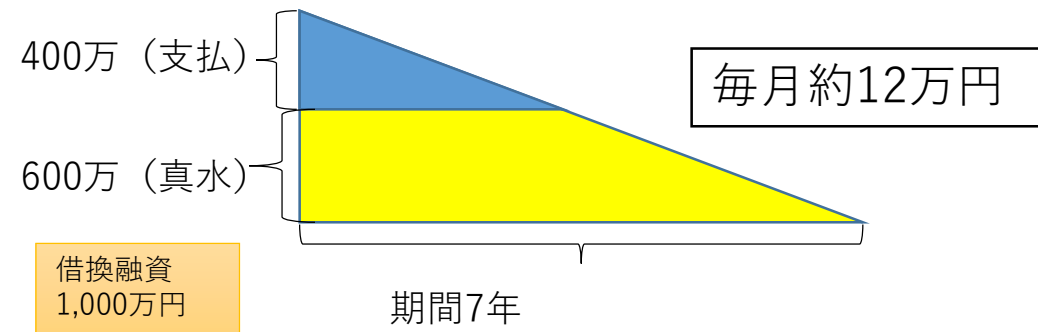
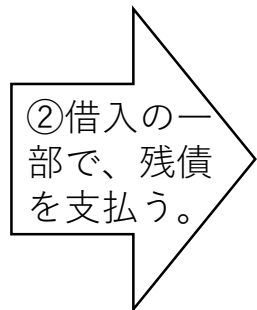
借換融資
1,000万円



内容

・借換融資の中から、残債を繰上償還し、真水分を追加融資として利用する。

例：融資①を借換融資から繰上償還した場合。
融資①（貸付金額：500万、経過期間：1年、残債：400万）



メリット

- ・単純に追加で融資をするよりも、返済期間が増え、月々の返済負担を低く抑えられる。
- ・事業計画を改善することができる。

●返済金額

- ・毎月約12万円

借換融資（複数以上を一本化）【例：立川市】

内容

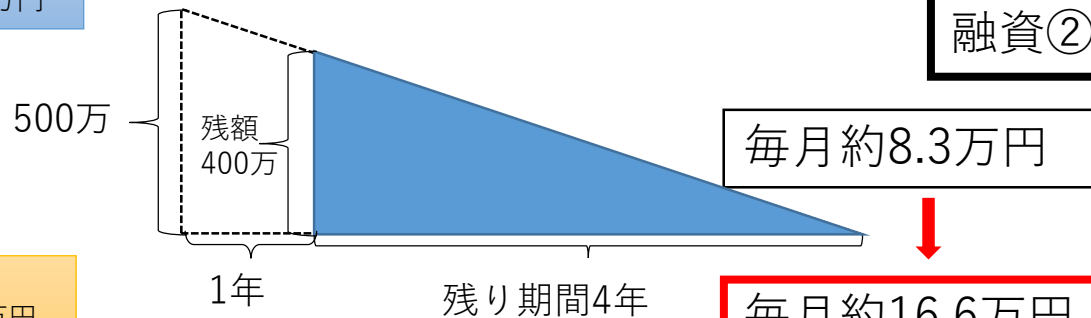
複数ある既存の残債を借換資金として一本にまとめる。

例：融資①と融資②を借換融資（800万と）して一本化

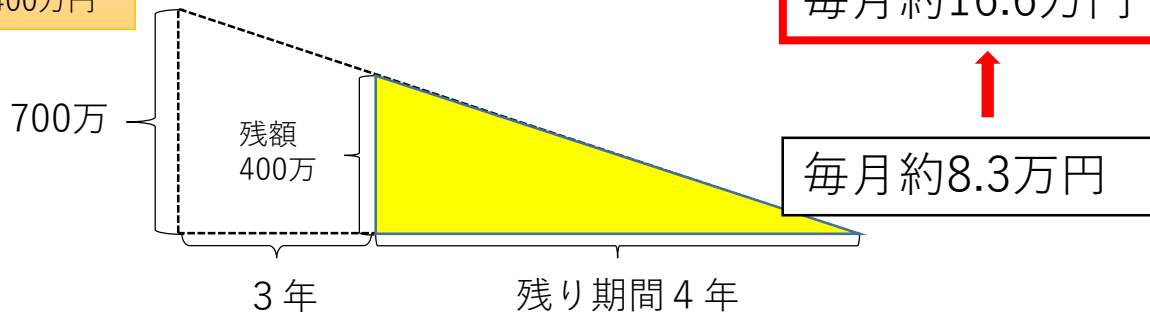
融資①（貸付金額：500万、経過期間：1年、残債：400万）

融資②（貸付金額：700万、経過期間：3年、残債：400万）

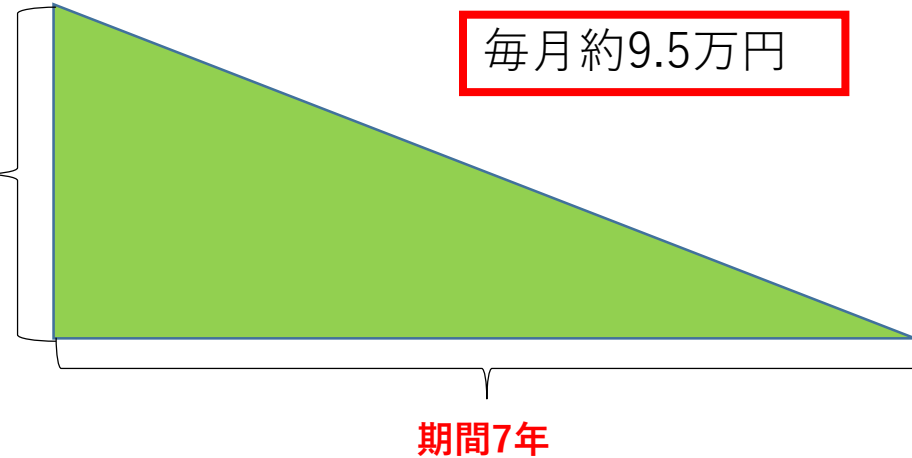
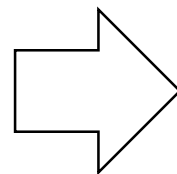
融資①
残債400万円



融資②
残債400万円



借換融資
800万円



●メリット

- ・複数の債務を一本化できるため、債務の明白化と償還期間を増やすことで、毎月の返済額が減る。

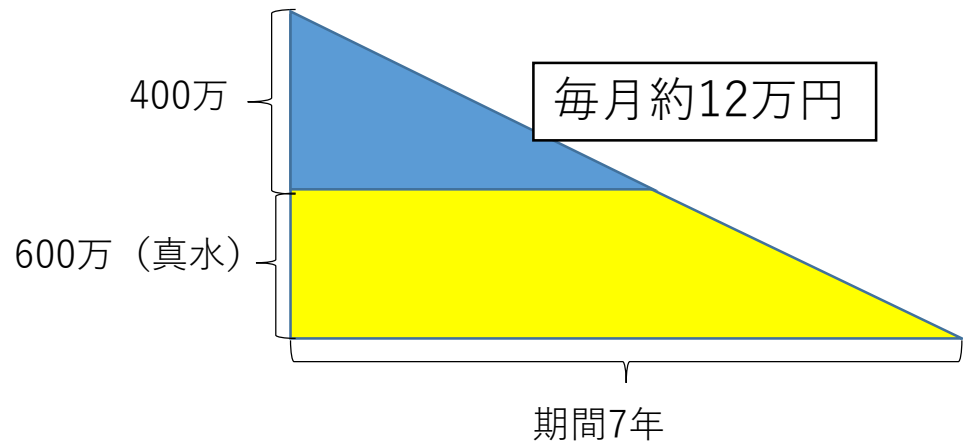
●デメリット

- ・複数債務があることが前提のため、西東京市の現状に合わない

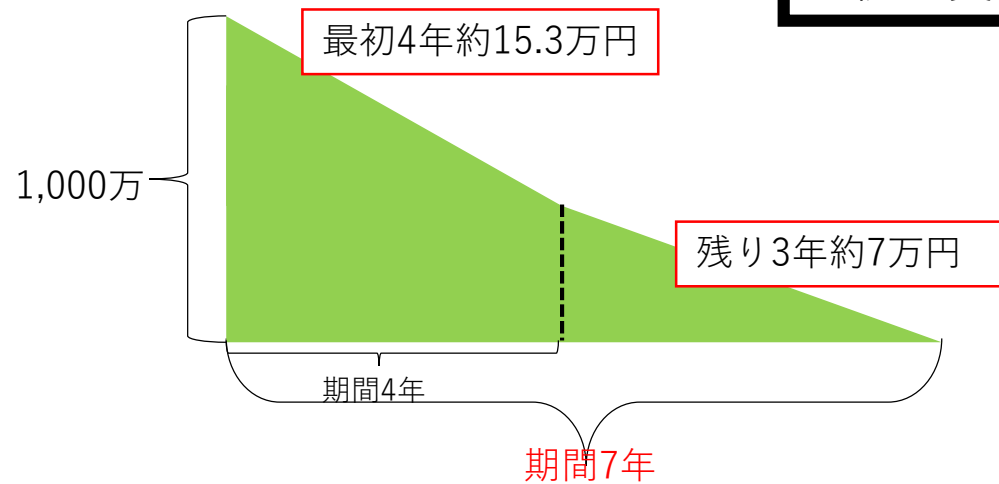
借換融資と重複融資の比較

条件
・残債400万円から600万円の追加で融資を受けたい場合

借換融資



重複融資



借換融資における
メリット
①月々均一に返済額を減少できる。
②返済が難しい場合の条件変更として使える。

デメリット
返済額が低い分利息は少し増える。